

## <白金標準先物、UBS のクレディ・スイス買収で明暗を分けるか・・・>



(出所：オアシス)

シリコンバレー銀行が破綻し、ファースト・リパブリック・バンクの株価が今週 70%近く下落し、クレディ・スイスの財政リスクが浮上するなど、金融市場の不確実性が高く、景気後退は避けられない状況下にある。特に景気商品である白金価格は、信用商品の金に比べ、今回の要因は悪材料となっており、7 日間で 440 円上昇した金に比べ、7 日間で 21 円しか上昇していない。また 22 日には FOMC を控えており、ECB 理事会は 0.5%の利上げを実施した事を踏まえると 0.25%の利上げは行って来るとの予想が多い。

ただ週末にフィナンシャル・タイム (FT) がスイスの大手銀行 UBS がクレディ・スイスの一部か全部の買収を協議しているとの報道もあり、週末から週明けに掛けて合意する事が出来ると、信用リスクの後退を受けて欧州通貨に欧州株の巻き戻しの値動きが強まると予想される。特に白金標準先物は、16 日の ECB 理事会で 0.5%の利上げを実施した事を受けたユーロ高で 4130 円まで反発を見せている。また一連の金融不安でも 4000 円を割り込む事なく、下げ渋る値動きは需給における供給不足の強みも隠れている事が読み取れる。

そのため今週は、UBS のクレディ・スイスの買収案件が合意するか、また FOMC で 0.25%の利上げを実施しても 4050 円を維持する事が出来るかに注目するのが妥当に思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD が切り下げながら、シグナルは切り上げている。また RCI は短期の上昇が止まり、長期は切り下げだすなどオシレーターは目先下値追いに注意が必要に思え、日足は 200 日移動平均線が位置する 4076 円で抵抗を見せる値動きには注意した方が良いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 4,500,000 円(2023 年 3 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 39,160 円(2023 年 3 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>